

神戸のまち、山、海が学び場！

関西学院大学生が切り拓く サステナブルな神戸

関西学院大学では、スクールモットー「Mastery for Service(奉仕のための練達)」のもと、多くの学生が在学中から社会貢献を意識した課外活動に励んでいる。地域をフィールドに活躍する関学生たちの取り組みに迫る。

Photo: Takuya Shirashi, text: Sara Ueda, edit: Maki Tsuga (cuphora factory)



Re.colab KOBEの里山再生

2021年、関西学院大学社会学部の松村淳准教授(当時)と学生が、神戸市内の身近な環境問題に取り組むべく、学生団体〈Re.colab KOBE (リコラボ コウベ)〉を設立。主な活動は、北区にある耕作放棄地の再生だ。高齢化、人手不足などの理由で管理が行き届かなくなった農地の草を刈り、土を耕し、作物を育てている。適切に自然に手を加えることで、里山の環境や生物多様性が保全されている。環境省の「自然共生サイト」区域にも認定された。

- 1 / 北区にある Re.colab KOBE の農圃。2022 年はムギ、23 年はソバの栽培に挑戦。自作のコンポストで堆肥をつくり、土壌改良に励む。
- 2 / ソバの実。 3 / 学生に加え、大学教員や地権者の前益幸さん、神戸市職員たちも参加。 4 / 裏山の竹で竿をつくり、刈り取ったソバを稲架掛けして乾燥させる。

永山 / コロナ禍に入学したので「人とのつながりをつくりつつ、何かに挑戦したい!」と参加しました。専門知識がないなか手探りで行く難しさはありますが、自然に触れ合う時間は心身ともにリフレッシュできますね。大沢 / ソバの生育状況に合わせて活動を行い、収穫までこぎつけました。天候に左右されるため、学生たちのスケジュールを調整するのは大変ですが、やりがいがあります。より多くの学生が活動をきっかけに農業や環境問題を自分ごとにしてほしいです。



社会学部4年
永山菜花さん



社会学部3年
大沢映介さん

5 / 空き家整備は不用品の処分からスタート。 6 / 長年手つかずだった空き家には多くの思い出の品が残っていた。

Re.colab KOBEの 空き家整備

過疎化が進む西区木津エリアの空き家を借り受け、リノベーションを進める。現在は建築事務所・西村組と連携したことで、神戸市から「建築家との協働による空き家活用促進事業」に選定され、市の助成金とクラウドファンディングで募った資金で廃棄物の処理や改装を行う。空き家を拠点に、過疎地域の活性化を目指す。



現在は空き家のごみ処分を行っている、これから解体の段階に入ります。西区に通いつづけることで、少しずつ地域の方々と交流を深めていて、この活動が地域の活性化につながっていけばうれしいですね。今後は婦人会と連携した食に関するワークショップなどもここを拠点に行っていきたいです。



社会学部4年
菅野佑志さん

アマモを移植しているときに、たまたま浜で遊んでいた親子が参加してくれたんです。一緒になって楽しみながら環境を考える機会をつくったことは、大きな喜びでした。ほかに、砂浜で拾ったプラスチックごみをつかったアクセサリづくりのワークショップを開いたり、WEB上で啓発活動を行ったりもしています。



社会学部4年
矢野まなみさん

Re.colab KOBEの里海再生

海洋生物により大気中から吸収された二酸化炭素は、有機炭素となり海中に貯蔵される。これは「ブルーカーボン」と呼ばれ、その活用は温暖化を食い止める新手法として注目を集める。里海再生活動では、環境団体・須磨里海の会や神戸市と協同し、海草のアマモを須磨海岸に移植。海の生物多様性の保全やブルーカーボンの普及に貢献すべく活動中だ。



人間福祉学部2年
山内瑞礼さん

人間福祉学部2年
小菅優衣さん

小菅 / ベーカリーにはロス量のデータも提供しています。食品ロスの根本原因を探る参考になればと望んでいます。山内 / 「神鉄トレインフェスティバル 2023」というイベントでパンを販売して、お子さんたちにも喜んでもらって貴重な経験ができました。

あすぱん.の パンの販売

学生の小菅優衣さんがベーカリーでアルバイトをしていたときに、廃棄されるパンの数に驚き、食品ロスをなくそうと始めた取り組みが「あすぱん.」。各ベーカリーで売れ残ったパンを引き取り、それを詰め合わせて「パンの宝箱」として販売。宝箱と銘打つことで残りものというマイナスイメージが減り、提携してくれたベーカリーの宣伝にもなる。現在はカフェの一角や商店街でポップアップショップを展開したり、企業での福利厚生の一環として導入されたりしている。

7 / 漁師と環境団体と市民をつなぐ「Suma 豊かな海フェスタ」に2年連続でブースを出展。 8 / 須磨海岸でビーチクリーン活動や地引き網体験をして、地域の人と交流をしている。



9 / 王子公園駅近くにある〈食堂そえる〉では、あすぱん.で「レスキュー(回収)」されたパンのビュッフェが楽しめる。 10 / 三宮の〈ペーカリー サンライトリリー〉でパンを受け取っているところ。 11 / 1袋1000円の「パンの宝箱」は複数のペーカリーのパンが1000円分以上の価値のセットに。新たなペーカリーを知るきっかけにも。

